

Super Deluxe

山おたより

No.28

平成19年3月

特集！

副住職・清水孝彦

日蓮宗大荒行威満帰山

祝！孫誕生

みんなのいのり

「伝道大会」厳肅盛大に円成

発行 / 行守寺

編集 / きょうしん

〒652-0054

神戸市兵庫区米室町 1-11-25

TEL.078-511-9691 FAX.078-515-2770

kyoshin@jss-kobe.com



一月十七日の阪神大震災の日にこだわったために、「伝道大会」の平日開催を余儀なくされた。
 「なんで平日やねん！」と非難の嵐……でもないけど。
 お寺の行事の度に、「お付合いでいいから、参加して」と懸命のアナウンス。
 その甲斐あって、大勢の檀信徒の方々にご参加戴き、主催者としての体面を保つことができました、と寺院の会合で挨拶したところ、招慶院さんなんか百人以上の参加があったことを後で知り、アイターツ！



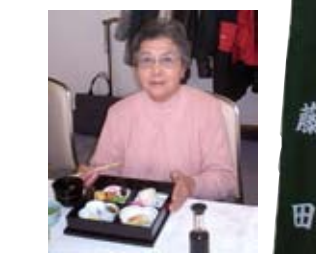
このポスターの通り、一月十七日、「伝道大会・阪神大震災十三回忌法要」を神戸文化ホールで開催しました。
 当日未明午前四時半に、震災モニュメントのある神戸市役所裏の東遊園地に行ったが、そば降る雨で土の地面はグチャグチャ。おかげで白足袋もビチャビチャ。
 「エーッ？所長さん。この雨やのにそんなカバーの無いぞうり履いて来はったんですか」と、あきれ顔のK原J純君。



神戸市役所裏、東遊園地の震災モニュメント付近にて



伝道大会のポスター



平成19年
2月10日

100日を経て

平成18年
11月1日

中央の黒服は、孝彦のいとこ。
おい孝彦、この人はオレの先輩たい。一緒に参行で
入るけん、挨拶ばしとけ。
はいッ！私は初行の清水と申します。どうぞよろし
くお願いします。
うん、苦しゅうない。



前日、池上 本門寺にて

特

副住職 清水孝彦
集 日蓮宗大荒行

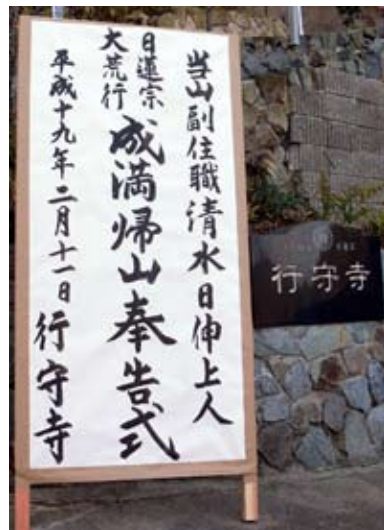
- 入行
- 成満
- 帰山



仏祖諸天それに先代上人がお慶びなのか、大変好天に恵まれました。
京都本山・本法寺の大塚貫首さまはじめ、管内のお上人さま方、それに孝彦の仲間である日蓮宗青年会のお上人方、そして、大勢の檀信徒のみなさんや友人のお出迎えを戴き、大変盛大で厳肅な「成満帰山奉告式」を執り行うことができました。



総代の佐々木さんが鬼子母神様の御尊像を胸に、行列の先導をつとめる



新聞先輩、もうお歳なんですから、そんなに力んで声出しはったら頭の血管切れまっせ。なに言うてんねん、お前らもっと声張り上げんかい！声小さい奴は、今夜罰水や、南無妙法蓮華經一おッ。



「シンちゃん、御幣1ミリずれてるで」
「この天井低いから楽やわ。あ、所長聞いてへんやろな」
「イス動かんように、ちゃんとしっかり支えとけやあ」
「先輩が重すぎるんすよお、ったくう」
てなこと言いながら、手際よく天符が完成していく。

な、常観、御幣はな、こうやって折るんやで。ふーん、先輩、太い腕して器用ですね。アホッ！腕なんか関係あれへん。全て尊神様の思し召しじゃ。おーい！お前ら。しゃべってばかりおらんと、しっかり働かんかい。ワシは総監督じゃ！



な、な、なんで休憩してる時に撮るんですか。忙しそうに仕事してる姿撮ってくださいよお。

武士総監督の檄がとぶ

準備風景



どや？安達、うまいやろ。うまいやろチューてんねん。ちゃんと見んかい！おれの字。そ、そんなに頭下げて謝ってもらわんかていいけどな。あ、所長、いじめてんのとちやいます。後輩の指導しますねん。



ふーッ！やっと着いたか。荒行終わったと思ったら、いきなり山登りかい。ワシら行中、座ってばかりで歩いてないねんから、あまり歩かせんなよ、孝彦。息切れするやんか。

第初行・清水日伸
ただいま帰って参りました。



【写真上】檀信徒奉納の題目旗。

【写真下】出迎えの青年会員、大中小。





所長、どうします？ご指示通りトラックに氷を満載して待機してありますが。そうかヒッヒッヒッ、越後屋お前もワルじゃのう、それじゃあ水桶にたっぷり氷を入れてくれ。何をおっしゃいます、お代官様。それじゃ、手はず通りに……、ヒッヒッヒッ。



はいはいッ、皆さん。水行が始まりますよ。水しぶきが飛びますので、さがってくださーい。
えーっ？若上人今から水かぶりはんの？おーっ、さぶッ。



スイ ギョウ 水行ーッ！



オレも早く荒行に行きたいなあ。だけど、百キロの体重では正座がもたへんしなあ。もっとやせなアカンわ。ようし、今日からどんぶり二杯でガマンするぞ。檀家参りでまんじゅう食うのもやめよう。

おかあさん、お兄てさあ、やせたなあ。ブヨブヨやったのになあ。そやねえ、アンタも早く素敵な男性見つけて結婚せなあ。そんな関係あれへんやん。

コージン君もましになったなあ、やっぱ会長のオレの指導が良かったんやなあ。ん、絶対そやで。

あたしのダンナも、何年かしたら荒行に行くのかしら、あーあ、かわいそう。だけど、声明師の方がカッコイイなあ。

ようし、帰ったら早速声明の特訓しよーッと。



家内安全

身体健全



うーむ、荒行から帰ったばかりの若上人は、気迫があつてありがたいなあ。
贅肉が落ちて、引き締まった顔になってはるやん。
これから、「タ力くん」て呼ばれへんなあ。

除災得幸
当病平癒
發育円満
商売繁盛
交通安全



皆さま

ありがとうございます

ございました



1月13日、孝彦修行中に嫁が出産。2月11日初めて吾が子と対面。御礼挨拶ついでに、檀信徒の皆さんに披露。この日、住職は黒子。



洛中本山 本法寺の
大塚貫首さまに御祝辞を頂戴した



川口宗会議長より辞令伝達

員



祝辞・佐々木総代



祝辞・辰巳修法師会会長



祝辞・清水伝道事務長

あとがき

いつも《山のたより》を正月に発行していたが、今年は副住職入行中のため、成満帰山の晩にその特集号として発行しますとお知らせしていた。

あれこれと非常に忙しく、なかなか編集作業に着手できないでいたが、忙しさにかまけていては、すぐお盆の時期になり、秋の彼岸を迎え、気にはなりながら「もう今年はいいか」とスッ飛ばしてしまうことは目に見えている。自らにむち打ち、やっと完成にこぎつけた。

いつもと違う、写真誌になった。なんか写真を貼付けるだけで手抜きしているようで、自分としては達成感や充実度に欠ける。が、これはこれで喜んでいただける……かな。

一部づつお届けしているが、友達に差し上げたいからもう一部ほしい、と言ったご希望があれば喜んで差し上げます。

もうそろそろ、本堂再建を考えないと。

次号は正月にお届けします。

あ、千葉のおっさんおばはんには大変お世話になりました。

きょうしん